

平成 2 3 年度第 2 回福祉体育館運営協議会会議録

日 時 平成 2 4 年 3 月 2 8 日 (水) 午後 2 時
場 所 福祉体育館 会議室
出 席 者 堀井典子会長、都築和男副会長、山田勇二委員、櫻井 鍾委員、
相羽雅敏委員、高木玉枝委員、平野浩委員、深見茂委員、
服部裕委員、原純夫委員、相羽弘次委員
欠 席 者 加藤健一委員
事 務 局 近藤生涯学習課長、加藤福祉体育館長、加納中央児童館長、
石川老人福祉センター次長、前田スポーツ担当係長、亀井中央
児童館主任、栗田

~~~~~

事 務 局 ただいまより、平成 2 3 年度第 2 回福祉体育館運営協議会を  
開催いたします。本日の出席委員は委員 1 2 名のうち、出席 1  
1 名、欠席 1 名で過半数の出席者でありますので、会議は成立  
することを報告いたします。

では、まずお手元に配布しました、資料の確認をおこないま  
す。運営協議会次第と委員名簿、豊明市福祉体育館運営要綱、  
続きまして議題 ( 1 ) の 2 4 年度事業計画は体育館、老人セン  
ター、中央児童館となっております。

それでは、会長よりご挨拶をお願いします。

会 務 長 ( あいさつ )

事 務 局 次に、本日 1 名の傍聴希望者がいます。いかが取り計らい  
いたしましょうか。

会 務 長 ただいま事務局より傍聴希望の報告がありましたが、傍聴を  
認めることとしてよろしいでしょうか。

( 異議なしの声 )

それでは、傍聴を認めます。

( 傍聴者入室 )

事務局 　　では、ただいまより議題に入りたいと思います。議事進行につきましては、豊明市福祉体育館運営要綱第3条第7項第2号により、会長にお願いしたいと思いますのでよろしくお願ひします。

会長 　　それでは議題(1)の平成24年度事業計画について事務局より説明をお願いします。なお、質疑応答については、生涯学習課スポーツ係・中央児童館・老人福祉センターの説明終了後に行います。

　　それでは、生涯学習課スポーツ係より説明願ひます。

事務局 (生涯学習課スポーツ係事業について前田担当係長より説明)

会長 　　続いて中央児童館より説明願ひます。

事務局 (児童館事業について加納館長より説明)

会長 　　続いて老人福祉センターより説明願ひます。

事務局 (老人センター事業について石川次長より説明)

会長 　　それぞれの説明が終わりましたので、質疑応答を行います。

質疑応答

会長 　　それでは、議題(1)平成24年度事業計画について承認を得たいと思います。承認いただける方は、挙手をお願いいたします。

挙手

会長 　　全員賛成により議題(1)平成24年度事業計画については承認されました。

次に、議題(2)のその他ですが、何かありますでしょうか。

事務局 (福祉体育館駐車場について加藤体育館長より説明)

会長 　　説明が終わりました。質問等はありませんでしょうか。

委員 　　計画案では、裏側に出入口がないようだが。

事務局 　　消防署の指導により、駐車可能台数が若干減少するが、裏側にも出入り口を設ける予定である。

委員 　　福祉体育館が、行事等があると満車になることが多々あるが、文化会館駐車場等も使用できるようにするとよいと思われる。

事務局 　　文化会館での大きな行事がない時は、満車の際、文化会館の駐車場の案内をしている。

会 長 満車になってしまう前に案内等ができるとういのではない  
か。

委 員 体育協会の事業のときは、案内等をしている。

会 長 文化会館も満車になってしまう時があるので、調整をしつつ  
行ってほしい。

それでは、これにて閉会とさせていただきます。長時間お疲  
れ様でした。

## 生涯学習課スポーツ係関連質問

質問：全国一斉「遊びの日」とはどのような事業か。

回答：レクリエーション協会に委託している事業であり、内容は、いろいろな遊びを親子で体験してもらうものである。ニュースポーツや、ウォーキング等を行う。

5月中に全国の様々な自治体で行われる事業である。

以前は三崎公園でのウォーキングを行っていたが、現在は体育館を借りて、5, 6種の遊びを行う。

質問：23年度と、24年度の事業の変化はあるか。

回答：スポーツクラブの体制の変化があったことと、スポーツ教室ではインディアカ教室を取りやめ、ヨガ教室を新たに行う。

## 老人福祉センター関連質問

質問：高齢者趣味講座・教室を受講するには、条件があるのか。

回答：豊明市内にお住まいの60歳以上の方（平成24年4月1日現在）であれば、どなたでも受講できます。ただし、応募者多数の場合は、抽選になります。

質問：高齢者趣味講座と教室の区分はどのようになっているのか。

回答：講座は、日本古来からの伝統芸能が主であり、講師の先生も師範の方をお願いし、基礎から本格的な内容まで専門性を重んじています。

教室は、基礎的な内容を習得することに重点を置き、教室を通して仲間づくりをしていただくような体制をとっています。

質問：老人福祉センターの利用者で11月20日の日に体育館入口で大声でわめいている女性の方がいて、児童館を利用する子供たちが怖がっていたが、対応はどうしているのか。

回答：すでに家庭内で問題があり、包括支援センター相談員より連絡を受けており、センターとしても万全を期して対応をしてきました。他の方に危害を加えることのないように見守りながら、調子の悪い時は退出いただくようお願いし、包括支援センターへも連絡を取り合って対応をしてきました。最近体調を崩され病院に入院してみえると聞いてます。

質問：歯つらつ教室とは何をしているのか。

回答：65歳以上の特定高齢者で口腔ケアの必要は者に対し、市内の歯科医により口腔内の検査を行い、機能向上を目指し教室を実施しています。

質問：市長さんが交代し、予算面・人事面で24年度変わったところがあれば

回答：老人福祉センター所長が高齢福祉課課長から高齢者担当補佐になる。センターの職員は、再任用の主事が当たることとなります。予算面では、大幅な変更はありません。

質問：中学生の職場体験学習は、以前からやっていますか。23年度の実績はどうですか。

回答：市教委から受入れ事前調査があり、毎年5人まで受入れの回答をしています。

今年度は、沓掛中学校1名。栄中学校2名。豊明中学校はありませんでした。

是非多くの方にお越しいただくことを希望します。

## 中央児童館関連質問

質問：老人センターを利用の人が入り口で、大きな声を出していた。児童館ではどのように対応したか。

回答：大きな声が聞こえたので主任が、すぐ確認を老人センターにした事や職員が、日々、安全面に気をつけている事や不審者訓練を行っていることを話した。

質問：子育て支援事業（ひよこクラブ・コッコルーム・わいわいサツ・さくらんぼ・親子体操）の参加人数を教えてください。また参加者がいて他の方が、利用しにくいという事はないか。

回答：ひよこクラブは登録は24名で、大体20組の親子が参加  
コッコルームは、自由参加で、15組から20組の参加  
わいわいサツは、登録制で大体5組  
親子体操は、自由参加で15組ほど  
さくらんぼは、24年度から始める  
児童館の、開館日・開館時間を説明し、親子で自由に遊べる場所であることを話し、支援事業を行っていても、他の親子が遊べる事が出来る事を説明した。

質問：23年度の活動計画と24年度の活動計画の違いはあるか。

回答：24年度から子育て支援事業・さくらんぼ（双子の会）を月に1回おこなう。